

大学図書館による展示

SALA 加盟図書館 所蔵資料展示会

■ 跡見学園女子大学

く〜かるた部による〜

競技かるたのデモンストレーション！>

跡見学園女子大学図書館の「百人一首コレクション」は、小倉百人一首から異種百人一首まで 3,000 点以上の資料を有し、貴重な写本、各種版本、卷子本、錦絵、かるた、双六、注釈・研究書、女性教養書、外国語訳、工芸品など幅広いものであることから、日本有数のものとして高い評価を得ています。

今回は、普段見ることのないその貴重な「百人一首コレクション」を、パネルにして掲示し、さらに「百人一首コレクション」数点を掲載した小冊子 1 と小冊子 2 の印刷物にし、来場者にお配りして、さらに親しみを持っていただき好評でした。

そして「百人一首コレクション」の紹介をかねて、本学かるた部が、競技かるたのデモンストレーションを行いました。これは、前回の“図書館と県民のつどい”に続き 2 度目のご披露で、観客の方の中にはリピーターさんも数多く参加し、嬉しい再会に話も弾み、子ども大人も一緒になって競技かるたを学び、楽しいひとときとなりました。



写真：記念講演講師 作家 須賀しのぶさんと

■ 埼玉大学

く埼玉大学を読む

本学にまつわる方々の著書たち>

埼玉大学図書館では、大学院生であるライブラリー・アシスタントが学部学生に学修支援を行っています。その彼らが企画しました本学に縁のある有名人や現役の教員の本からピックアップしました展示を行いました。

また、今年度は埼玉大学が創立 70 周年を迎えましたので、創立当時から現在に至る歴代の学長、図書館長のご紹介、部局等の変遷、卒業生等の活躍を記載しました年表の掲示も行いました。



SALAとは

本会は、1988 年に埼玉県内の大学・短期大学図書館で設立された任意団体です。会員間の相互協力を通じて、相互の改善向上を図ることを目的とし、その目的達成のために幾つかの事業を行っています。

SALA は Saitama Academic Library Association の略です。

■ 城西大学

<ディスプレイの仕組みと光の不思議

液晶の“液”ってなに？>

私たちが現代生活を送る上で欠かすことのできない液晶ディスプレイは、“液晶”という物質の状態と“偏光”という光の特性を操る技術を駆使して作られています。

今回の展示ではその液晶ディスプレイに関する資料をご覧いただくとともに、本理学部化学科 准教授・橋本雅司先生にご協力いただき、液晶に使われる“偏光”などの技術についての簡単な実験をご用意しました。

偏向板を貼り付けただけの不思議な小瓶や、紙コップと偏向板、透明フィルムで作った万華鏡、ガラス粉板に懐中電灯の光を当てることで虹を作る体験などが好評で、大人から子供までたくさんの方に楽しんでいただきました。

また、今年 11 月に行われた第 21 回図書館総合展にて去年に引き続き優秀賞を受賞した、当館学生アドバイザーが作成したポスターセッション展示も紹介しました。



■ 女子栄養大学

<おいしいたのしいうれしい学校給食>

学校給食は、1889(明治22)年山形県鶴岡市の私立忠愛小学校で貧困児童を対象に、無償で提供したことが始まりです。

展示は、学校給食の歴史を年表にまとめ、黒板に貼ったような雰囲気になりました。テーマに関連した所蔵資料や給食メニューのレプリカ、そして「栄養と料理デジタルアーカイブス」(iPadにて)掲載の給食メニューを来場者に見ていただきました。

学校給食は、誰もが経験した楽しい時間であり、おいしいメニューは記憶に残っていると思い、“みんなで書こう！大好きな給食”と呼びかけをし、来場の皆さんに大好きな給食の一品を書いていただきました。

結果は、第1位がクジラの竜田揚げ、第2位が揚げパン、ソフトめん、となりました。76名の来場者を書いていただき、おいしい給食を思い出したうれしいひとときとなりました。

【人気のあった展示資料】

『日本全国給食図鑑 東日本編、西日本編』



■ 聖学院大学

<H.P. ラヴクラフト生誕 130 年記念展示>

アメリカの怪奇幻想文学作家 H.P. ラヴクラフトは、2020 年に生誕 130 年を迎えます。これを記念して、ラヴクラフトの著作の邦訳の歴史を辿る資料展示をしました。

今回の展示資料は全て展示担当職員が十代のころから収集している個人コレクションです。1948 年に江戸川乱歩が日本で初めてラヴクラフトに言及した雑誌のコラム、1950～1970 年代に翻訳作品が掲載された書籍の初版本、児童向け翻案作品、1980 年代後半に広まったテーブルトーク R P G、草稿のレプリカなど幅広く資料を取り揃えました。

日本では、ラヴクラフトの作品がマンガやゲームの原作やモチーフとなったことなどから若者を中心に知名度も上がって来ていますが、まだまだ彼の名前を知らない方も多く、初めてラヴクラフトの名前を聞いた方にも興味を持っていただけたかと思います。また、本展示を見るためだけに桶川までお越しくださった方もおり、熱心なラヴクラフトのファンにも好評でした。



■ 大東文化大学

<レオナルド・ダ・ヴィンチ～青春時代～>

没後 500 年を迎えた「万能の人」レオナルド。現代の私たちを魅了する謎多き人物ですが、その青春時代は絵画への情熱で試行錯誤を繰り返していました。《東方三賢王の礼拝》などの初期作品に注目し、素描のファクシミリ版（本学所蔵）とともに紹介しました。

本学ブースには 150 名を超える来場者が見学に訪れ、彼が生まれたヴィンチ村と青春時代を過ごしたフィレンツェでの様子などの関連情報にも興味を示されていました。また見学者の多くが注目したポイントは、天才ダ・ヴィンチがイケメンだったという点でした。あまりの美形ゆえに彫刻のモデルになったというエピソードなど、アーティスト以外の表情も紹介できました。

【おもな展示作品紹介】

①《東方三賢王の礼拝》の素描

未完の《東方三賢王の礼拝》を構成する素描 5 枚を紹介。登場人物のしぐさや背景の建造物の遠近が数学的に表現されている。

②《受胎告知》の素描

聖母マリアの服の襞と影を追求した素描。

③《岩窟の聖母》の素描

幼い洗礼者聖ヨハネの頭部をデッサンしたもので、完成作品と比べると興味深い。



■ 山村学園短期大学

<子ども学科の図書館～楽しい展示を紹介>

山村学園短期大学は子ども学科のみの単科です。そんな子ども学科図書館の雰囲気が伝わるようにと大型絵本や紙芝居舞台、仕掛け絵本、手作り絵本・布絵本、専門雑誌等を持参、更に季節展示の実物を掲示しました。

今回は初めての参加でしたので、本学を知らない方のために学園の沿革、そして埼玉の詩人・初代館長榎皓志氏の著作を展示し、学生の読み聞かせ動画も持参しました。が、一人参加であったために十分に説明する余裕が無かったのが反省点でした。

学生の手作り(布)絵本や仕掛け絵本は小さなお子さんが夢中になっていました。また、「お正月あみだくじ」の展示が好評で、子どもから大人まで、運勢とお勧め絵本を書いた札を引き楽しんでいただけました。自館の参考にするとのお声に大変嬉しく思いました。



■ 国立女性教育会館

<宿泊できる専門図書館>

国立女性教育会館(NWEC)は男女共同参画社会の形成を目指して活動する宿泊研修施設です。

NWECにある男女共同参画等に関する専門図書館、女性教育情報センターを「宿泊出来る専門図書館」としてポスターならびに所蔵資料の展示にて紹介しました。なおこのポスターは今年度の図書館総合展にて運営委員会特別賞を受賞いたしました。

その他に最新事項を盛り込んだ男女共同参画すごろく(電子版)の紹介や、SDGsさんかくしおりの配布を行いました。

皆さん足を止めて興味深くポスターを見たり、しおりを受け取ったりしておられました。



大学図書館部会：当日スタッフの集合写真

記録

跡見学園女子大学 橋本 麻美

国立女性教育会館 細川 芽

埼玉大学 小野寺 伸

女子栄養大学 池内 和恵

城西大学 豊島 啓子

聖学院大学 中山 浩二

大東文化大学 角張 亮子

山村学園短期大学 品川 今日子

※大学名五十音順